

朝に就ての童話的構図

宮沢賢治

青空文庫

苔こけいちめんに、霧がぼしやぼしや降つて、蟻ありの歩哨ほせうは、鉄の帽子のひさしの下から、するどいひとみであたりをにらみ、青く大きな羊齒しだの森の前をあちこち行つたり来たりしてゐます。

向ふからぶるぶるぶる一ぴきの蟻の兵隊が走つて来ます。

「停とまれ、誰たれかつ」

「第百二十八聯隊れんたいの伝令！」

「どこへ行くか」

「第五十聯隊 聯隊本部」

歩哨はスナイドル式の銃剣を、向ふの胸に斜めにつきつけたまま、その眼の光りやうや顎あごのかたち、それから上着の袖そでの模様や

靴の工合ぐあひ、いちいち詳しく調べます。

「よし、通れ」

伝令はいそがしく羊齒の森のなかへ入つて行きました。

霧の粒はだんだん小さく小さくなつて、いまはもううすい乳いろのけむりに変り、草や木の水を吸ひあげる音は、あつちにもこつちにも忙しく聞え出しました。さすがの歩哨もたうとう睡ねむさにふらつとします。

二疋ひきの蟻の子供らが、手をひいて、何かひどく笑ひながらやつて来ました。そして俄にはかに向ふの櫓ならの木の下を見てびつくりして立ちどまります。

「あつあれなんだらう。あんなとこにまつ白な家ができた」

「家ぢやない山だ」

「昨日はなかつたぞ」

「兵隊さんいきいて見よう」

「よし」

二足の蟻は走ります。

「兵隊さん、あすこにあるのなに？」

「何だうるさい、帰れ」

「兵隊さん、みねむりしてんだい。あすこにあるのなに？」

「うるさいなあ、どれだい、おや！」

「昨日はあんなものなかつたよ」

「おい、大変だ。おい。おまへたちはこどもだけれども、かうい

ふときには立派にみんなのお役に立つだらうなあ。いゝか。おまへはね、この森を入つて行つてアルキル中佐どのにお目にかゝる。それからおまへはうんと走つて陸地測量部まで行くんだ。そして二人ともかう云ふんだ。北緯二十五度東経六厘の処ところに、目的のわからない大きな工事ができましたとな。二人とも云つてごらん「北緯二十五度東経六厘の処に目的のわからない大きな工事ができました」

「さうだ。では早く。そのうち私は決してこゝを離れないから」
蟻ありの子供らは一目散にかけて行きます。

歩哨ほせうは剣をかまへて、じつとそのまつしろな太い柱の、大きな屋根のある工事をにらみつけてゐます。

それはだんだん大きくなるやうです。だいいち輪廓のぼんやり白く光つてふるふるふる顫へてゐることもわかります。俄かにぱつと暗くなり、そこらの苔はぐらぐらゆれ、蟻の歩哨は夢中で頭をかかへました。眼をひらいてまた見ますと、あのまつ白な建物は、柱が折れてすつかり引つくり返つてゐます。

蟻の子供らが両方から歸つてきました。

「兵隊さん。構はないさうだよ。あれはきのこといふものだつて。何でもないうつて。アルキル中佐はうんと笑つたよ。それからぼくをほめたよ」

「あのね、すぐなくなるつて。地図に入れなくてもいいつて。あんなもの地図に入れたり消したりしてゐたら、陸地測量部など百

あつても足りないつて。おや！ 引つくりかへつてらあ」

「たつたいま倒れたんだ」歩哨は少しまり悪さうに云ひました。
「なあんだ。あつ。あんなやつも出て来たぞ」

向ふに魚の骨の形をした灰いろのをかきなきのこが、とぼけたやうに光りながら、枝がついたり手が出たりだんだん地面からのびあがつてきます。二足の蟻の子供らは、それを指さして、笑つて笑つて笑ひます。

そのとき霧の向ふから、大きな赤い日かのぼり、羊歯しだもすぎこけもにはかにぱつと青くなり、蟻の歩哨は、また巖いかめしくスナイドル式銃剣を南の方へ構へました。

青空文庫情報

底本：「宮沢賢治全集8」ちくま文庫、筑摩書房

1986（昭和61）年1月28日第1刷発行

2004（平成16）年4月25日第20刷発行

初出：「天才人 第六輯」

1933（昭和8）年3月25日発行

入力：土屋隆

校正：noriko saito

2009年5月4日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

朝に就ての童話的構図

宮沢賢治

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>